



理想の翼



千厩高校[質実剛健・文武両道]校報

校章のデザインは、桑葉に生糸を配したものである。桑樹は、生命力が旺盛にして強靱、生糸は、純粋無垢、優美高尚の象徴である。即ち、本校の礎が堅固であり、絶えず進展、躍動する青春を意味する。

2016年1月30日 No.10(1月号) 岩手県立千厩高等学校 校報(発行者 校長)

頑張り受験生!! 大学入試センター試験スタート

平成28年1月16・17日(県内7会場)

千厩高校 57名 センター試験激励会(1/15)

1月15日(金)、いよいよセンター試験に出発する日が来ました。全国で56万人が受験するテストに、緊張の面持ちで先生方の話を聞く受験生の姿が見られました。校長からの激励、進路指導課長からのエール、3学年長からは受験に向けての心構えなど、関係者から様々な応援メッセージが贈られました。

センター試験後は気持ちを切り替え、個別試験に向け一生懸命取り組んでください。教職員一同全力で応援したいと考えています。



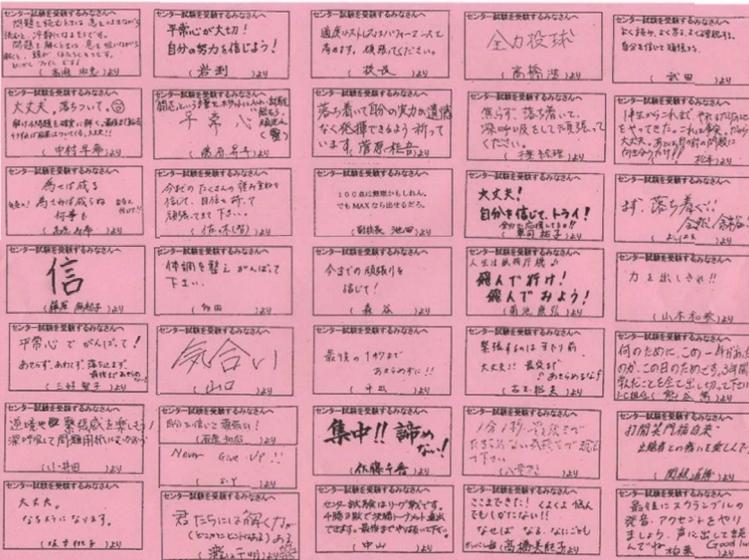
校長激励



進路指導課長エール



3学年長受験に向けての心構え



千厩高校教職員からの激励文



岩手大学試験場



盛岡大学試験場

2016年(平成28年)

2016年度入試スケジュール(概要)

| | |
|------------|--------------------------------|
| 1月16・17日 | 大学入試センター試験(本試験) |
| 1月25日~2月3日 | 2次(個別)試験出願 |
| 2月4日 | 大学入試センター試験 平均点等の最終発表 |
| ~2月10日 | 推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表 |
| 2月25日~ | 前期日程試験 |
| 3月1日~10日 | 合格発表(国立は6日~) |
| 3月8日~ | 中期日程試験 |
| 3月20日~23日 | (中期)合格発表 |
| 3月12日~ | 後期日程試験 |
| 3月20日~24日 | (後期)合格発表 |
| 3月28日~ | 追加合格者発表・欠員補充第2次募集 出願・試験 |

第3回(平成27年度)学生ファッションデザイン優秀賞

作品名:「ザ・シンプル」 千厩高校2年 熊谷海斗くん

表彰式 平成28年2月28日(日) 二戸市民文化会館大ホール

一般社団法人北いわてアパレル産業振興会は、北いわてに集積している縫製業者のイメージアップと次代の地域産業を担う人材育成を目的に、学生によるファッションデザインを募集しました。本校2年熊谷海斗くんが応募した作品『ザ・シンプル』は、応募総数294点の中から、優秀賞に選定されました。

入賞作品(優秀賞10点及び奨励賞10点)の表彰式と優秀賞作品の制作発表は、2月28日に「第3回学生デザインファッションショー」で行われます。



第3回学生デザインファッションショーのポスター



優秀賞に輝いた作品『ザ・シンプル』

文化祭益金 地域のために!!

一関市社会福祉協議会に 273,021円 を寄付

期日:平成27年12月28日(月)

文化祭益金 地域のために
千厩高生、社協に寄付

一関市千厩町の千厩長が皆川隆一(同)社協副委員長(右から)伊藤桃子子会長、岩淵南委員長、佐藤尚輝副委員長と、岩淵南委員長(同)文化祭実行委員長は「非常にありがたい」と感謝した。文化祭は10月に開催される予定で、収益金はこれまで、



【この記事(平成27年12月30日岩手日報)は、岩手日報社の許諾を得て転載しています。】

第2回青少年交換長期・短期派遣

本校2名の生徒の派遣が決定!!

国際ロータリー第2520地区 (Rotary DISTRICT 2520)

平成26年度の遠藤桜さんに続き、今年度は2年A組の伊藤桃子さんと、2年B組の皆川久哉君の2名が、第2回青少年交換短期派遣生に選ばれました。おめでとうございます。この研修の目的の一つは、外国でのホームステイを通じて、外国語を学び、友情を深め、国際的視野を広げる契機とすることです。派遣先は、アメリカ・オクラホマ州で、派遣期間は、2016年3月13日(日)~26日(土)までの14日間となります。 HAVE A NICE TRIP!!

千厩高校【キャリア教育文部科学大臣表彰】受賞

- ・新聞：岩手日日掲載記事の紹介
- ・掲載日：平成28年1月5日(火)
- ・見出等：新聞活用などで学力向上を図る!!



【岩手県NIE協議会 県内審査結果】



- ・成績：優秀賞 H27/11/26 【作品紹介】
- ・氏名：千厩高校2年生 糸谷 裕太朗くん
- ・記事：「母親の8割1人で我慢」 ※共同通信社配信

1 千厩高校2年 糸谷裕太朗くんが取り上げた記事

母親の8割1人で我慢

子ども連れて外出中、困ったことがあっても一人で我慢。教育玩具輸入販売のポネネット社(東京)による意識調査に対し、子育て中の母親の約80%がこたえた。調査は、最初の子どもが幼稚園や保育所に通う母親を対象にインターネットで実施し、4122人が回答を得た。

91%が、子ども連れて外出した際に不安や不便を感じたり困りを感じた。そのうち、半数以上が「対処方法を複数回答で聞いたところ」が最も多かった。

| | |
|-----|-----------------------------|
| 83% | 我慢し一人で解決しようとする |
| 62 | 友人や家族と一緒に行動する |
| 22 | 携帯電話などで家族や友人に助けを求め、駅員や店員に頼む |
| 20 | 周囲や一般の人に協力を求める |
| 19 | 周囲や一般の人に協力を求める |

東京の玩具販売会社調査

「我慢し一人で解決しようとする」が83%、「友人や家族と一緒に行動する」が62%を数派た。ほかには「携帯電話などで家族や友人に助けを求め」(22%)、「駅員や店員に頼む」(20%)、「周囲や一般の人に協力を求める」(19%)など。

また、自分の周囲や日本社会が子育てに寛容かどうかを尋ねると「寛容」と答えた人は14%にとどまり、「あまり寛容でない」「全く寛容でない」が計47%に上った。

同社の社長は「核家族が進んで共同体的なつながりが薄れる母親、孤立して子育てする母親は多い。周囲が温かく見守り、皆で支え合える社会をつくる必要がある」と話している。

【この記事(平成27年8月15日岩手日報)は、共同通信社及び岩手日報社の許諾を得て転載しています。】

2 記事を選んだ理由と記事を読んで思ったこと、考えたことを書く。

私がこの記事を選んだきっかけは、最近ニュースで両親が自分たちの子供をほんのささいなきっかけで死亡させたり、児童保育施設などで虐待のようなことを行っていたりというニュースを聞く機会が増え、疑問と興味をもったからだ。この記事を読んで驚いたことは、今の日本が子育てに寛容ではないと感じている割合が約半数にのぼるということだ。少子高齢化が進む中でこのような結果が出たことに対し、大きな不安を抱いた。

3 家族や友達にも記事を読んでもらい、その人の意見を聞きとって書く。

私は実際に子育てを体験した方の意見を聞きたいと思い、一番身近な母に意見を聞いた。母は「私が子育てをした環境は田舎だったので、家族や身内だけでなく近所の方々も子育てに協力してくれた。だから困ることがあっても一人で我慢することはなかった。今の母親は自分一人で抱え込むのでよくない。」と話していた。

4 話し合った後のあなたの意見や提案・提言を書く。

私は今の日本社会が子育てに寛容でないことに興味を持ち、自分で調査したり、母へのインタビューを通して、今の日本に足りないものは何か考えを深めたりすることができた。

子育てに一番重要なものは「支え合うこと」だと私は考える。今の日本社会には、支え合うことへの意識が足りないと思う。その背景には、女性の社会進出や核家族世帯の増加など、周りに協力してもらえない環境が少ないことが大きく影響しているのだろう。私は母に、昔の日本は子育てに寛容でしかたという質問をした。母は「昔は身近なところで子供が生まれたら皆で支え合って育てようという意識が強かった。少くとも今より子育てしやすい環境だった。」と話してくれた。私はこのような問題に更に目を向けていきたいと思っている。なぜなら、今の日本の少子高齢化が進むにつれ、新たな課題も増加すると考えるからだ。我々一人ひとりの意識と行動が「子育てに寛容な国」を作る一歩ではないだろうか。

【一関市議会議員 高校生の提言を一関市長へ】

- ・懇談：市民と議員の懇談会(一関市議会主催)
- ・市民：一関市内9校
- ・本校：平成27年12月21日(月) 15:40~17:00開催

- 【千厩高校生の意見(抜粋)】(下記3項目に関する意見が市長へ提言された。)
- ・選挙制度：選挙権の引き下げよりも、現在の大人の投票率向上を。
 - ・選挙制度：選挙の周知としてSNSの活用を。
 - ・生活：交通インフラなど地域格差がある。公共施設利用料の高校生への減免措置を。
 - ・生活：奨学金の増額を。
 - ・生活：国は地方の時代と述べているが、一関市の発信が弱いのでは。
 - ・生活：ふるさと納税の返礼品に餅や南岩手牛等市の特産品を活用すべき。
 - ・生活：北海道新幹線開業のチャンスを活かした振興策を。
 - ・生活：高齢化なのに介護報酬が上がらないのは疑問。
 - ・就労：保育士として地元で就職希望。所得向上や自然を活かした保育を。

キャリア教育推進



**千厩高に文科大臣表彰
新聞活用で学力向上を図る**

一関市一関町立千厩高等学校(校長 佐藤 隆夫)は、キャリア教育の充実、特別に努力した功績を認め、文科大臣表彰を受けた。県内高校の受賞は今回が初めて。新聞活用による教育実践(1)と、キャリア教育の特色を生かした取り組みで、生徒の自立能力を高める。関係者は、取り組みの成果を高く評価し、今後の期待を込めて、「よい」としている。

千厩高はキャリア教育推進(編集長 佐藤 隆夫)は、キャリア教育の推進、特別に努力した功績を認め、文科大臣表彰を受けた。県内高校の受賞は今回が初めて。新聞活用による教育実践(1)と、キャリア教育の特色を生かした取り組みで、生徒の自立能力を高める。関係者は、取り組みの成果を高く評価し、今後の期待を込めて、「よい」としている。

千厩高はキャリア教育推進(編集長 佐藤 隆夫)は、キャリア教育の推進、特別に努力した功績を認め、文科大臣表彰を受けた。県内高校の受賞は今回が初めて。新聞活用による教育実践(1)と、キャリア教育の特色を生かした取り組みで、生徒の自立能力を高める。関係者は、取り組みの成果を高く評価し、今後の期待を込めて、「よい」としている。



【平成28年1月5日岩手日日：この記事・写真等は、岩手日日社の許諾を得て転載しています。】

【いよいよ18歳選挙権が実現!!】

- ・公職選挙法改正案 2015/3/5 国会提出(6/17 国会可決)
- ・公職選挙法改正案 2015/6/19 公布
- ・平成28年(2016年)夏の参議院議員通常選挙から適用

【経緯】

平成26年6月に憲法改正国民投票法が改正され、国民投票権年齢が18歳以上に改正されたことに伴い、選挙権年齢の引下げについても与野党8党間で合意された。合意した政党間でプロジェクトチームが発足し、このPTで取りまとめられた選挙権年齢の引下げを内容とする公職選挙法改正案が、平成27年3月5日に国会に提出され、同年6月17日に可決成立、同年6月19日に公布された。

選挙権年齢の引下げは、昭和20年に20歳以上の男女に有権者が拡大されて以来、実に70年ぶりの改正となり、18歳、19歳の新たな有権者が約240万人(有権者の約2%)増加することとなる。

この法律は、公布の日から起算して1年を経過した日(平成28年6月19日)から施行し、施行日後初めて行われる国政選挙の公示日以後に公示・告示される選挙から適用するとされたことから、平成28年夏の参議院議員通常選挙から適用される見込みとなった。

【岩手日報社 県内高3 100人アンケート】結果概要&本校生徒の声
初めての投票まで約半年となり、県内の高校3年生は一票の重さを感じ始めている。18歳選挙権導入を前に岩手日報社が実施した100人アンケートでは、政治参加への期待と、選択する責任への不安が明らかになった。「投票に行く」と回答した生徒は82人を救え、選挙に高い関心があることが分かった。

また、復興や教育、少子高齢化への対応など課題意識を持つ生徒も多い。

本校3年ですでに大学進学も決まり、将来は教員を志望する島山智良君の思いは右記の通りである。

【平成27年12月31日岩手日報】→この記事・写真等は、岩手日報社の許諾を得て転載しています。

千厩 島山 智良君
高校で勉強した直後の18歳の方が、大人より真剣に考えて投票するかもしれない。政治家が公約を実現しなければ、若者は「自分の一票で何が変わるのか」と思ったろう。